

平成30年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

| | |
|---------------|---|
| (1)施設名 | さいたま市馬宮コミュニティセンター外3施設 |
| (2)施設概要 | <p>①所在地 さいたま市西区大字西遊馬533番地1(さいたま市馬宮コミュニティセンター) さいたま市西区三橋6丁目642番地4(さいたま市西部文化センター) さいたま市北区吉野町2丁目195番地1(さいたま市宮原コミュニティセンター) さいたま市北区日進町1丁目312番地2(さいたま市日進公園コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要 (さいたま市馬宮コミュニティセンター) 【開館】平成14年5月7日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】5,661.47㎡ 【延床面積】5,270.93㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員298名)、第1集会室(定員45名)</p> <p>(さいたま市西部文化センター) 【開館】平成2年12月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 【敷地面積】5,311.07㎡ 【延床面積】4,897.71㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員420名)、音楽室(定員50名)</p> <p>(さいたま市宮原コミュニティセンター) 【開館】平成12年4月10日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】2,458.79㎡ 【延床面積】3,393.39㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員312名)、レクリエーションルーム(定員30名)</p> <p>(さいたま市日進公園コミュニティセンター) 【開館】昭和45年6月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】762.53㎡ 【延床面積】629.73㎡ 【主要施設】体育室(定員50名)、調理室(定員25名)</p> |
| (3)指定管理者 | 公益財団法人さいたま市文化振興事業団 |
| (4)指定期間、指定管理料 | <p>①指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成28年度272,858千円、平成29年度262,536千円、平成30年度273,781千円</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>(5)施設の管理運営の内容</p> | <p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 323,835人(前年度274,712人) ・利用率37.9%(前年度40.3%)</p> <p>◇業務実施状況 ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸し出し</p> <p>②維持管理業務の状況 ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施</p> <p>③その他の業務 【自主事業(さいたま市馬宮コミュニティセンター外3施設)】 ・無理なく気楽に健康エクササイズ講座(20)、革細工講座(17)、伝統文化講座「きめこみで干支・亥をつくろう」(19)、社会保険労務士講座(25)等、各種講座を開催 ※()内の数字は、参加人数</p> |
| <p>(6)収支状況</p> | <p>①収入 ・指定管理料 273,781千円 (前年度262,536千円) ・自主事業収入1,352千円 (前年度1,497千円) ・その他収入1,277千円 (前年度1,091千円)</p> <p>②支出 ・人件費106,409千円 (前年度106,121千円) ・事務費1,629千円 (前年度1,582千円) ・施設管理費162,108千円 (前年度150,448千円) ・自主事業費3,265千円 (前年度3,396千円)</p> |
| <p>(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p> | <p>・「エアコンの温度設定を利用者側でできるように」との声を受け、管理方法を見直し、各室で調整できるようにした。(馬宮) ・「情報スペースを増やしてほしい」との声を受け、チラシラックを増設(西文) ・「利用者が自由に使用できるモップが欲しい」との声を受け、3階に清掃用具庫(モップ等)を設置しご利用いただけるようにした。(宮原) ・その他、各館に寄せられる様々な意見・要望に対し、速やかにその内容を検討し、対応するよう務めた。</p> |
| <p>(8)その他</p> | <p>地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。</p> |

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

| 提案内容 | 達成状況 |
|----------------------------------|--|
| コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 | <p>子どもから大人まで、幅広い年齢層を対象に各種講座を開催したほか、コミセンまつりやコンサート等を実施することで、世代間や地域住民間の交流を図ることができた。</p> <p>また、昨年に引き続き、指定管理者が管理する市内17のコミュニティセンター、2つのプラザ施設及び市民活動サポートセンターと共同で「ぐるりパネル展」(各施設順番に展示パネルでサークル活動等の紹介を行なう)を開催した。</p> |
| コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業 | <p>事業団ホームページや事業団情報誌SaCLaの発行により、各種講座やコンサート情報を提供した。また、施設の利用情報や地域の情報を掲載したコミュニティセンターだよりを月1回発行し、地域住民への情報提供に努めた。</p> <p>相談対応事業としては、市民相談コーナーを設置し、市民の生涯学習や地域交流、地域支援に関する相談を随時受付けた。</p> |
| 施設の貸出 | <p>近隣自治会等へのチラシの回覧や常に利用者目線での接客を心掛けることで、施設利用者及び利用率の増加に努めた。</p> <p>また、利用する施設以外のコミュニティ施設で利用申請及び支払いが出来る「他館申請」サービスにおいては、全施設合計で5,166件、6,056,260円を取り扱った。</p> |
| 施設維持管理 | <p>指定管理業務仕様書に基づき、施設や舞台設備等の点検を適切に実施し、利用者が快適に過ごせるような施設環境に努めた。</p> <p>また、職員による日常的な巡回点検を実施し、危険箇所の早期発見に努める予防管理を行い、ライフサイクルコストの低減に努めた。</p> |
| 市施策事業との連携 | <p>市民活動サポートセンターと連携して、「ぐるりパネル展」を開催した。さいたま市との共催でジュニアソロコンテストを開催し、宮原コミュニティセンターは予選会場の一つとなった。</p> |
| 利用者満足度調査 | <p>施設利用者には「職員の対応」・「施設・整備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。</p> <p>また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口に設置した。</p> |

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

・誰もが気軽に訪れる施設として、日常の危機管理と緊急時への備えを万全にし、常に安心して安全な施設環境を提供することに努めた。また、「市民が主役である」という意識を常に持ち、地域のコミュニティ拠点機能の強化に努めた。

・当事業団が独自に策定した「コミュニティ振興プラン」に基づき、学習機会の提供や地域住民が交流出来るような様々な事業を実施し、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実を図った。

・広報活動の強化を図った結果、前年度より利用人数を増加することが出来た。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進

・馬宮コミュニティセンターは、複合施設を活かした事業を展開していた。

・西部文化センターは、小学生向けの事業を実施し、利用者の年代拡大に努めていた。

・宮原コミュニティセンターは、職員がロビーの飾り付けを行い、利用しやすい雰囲気づくりに努めていた。

・日進公園コミュニティセンターは、子供向けの事業を開催し、親世代に施設をアピールしていた。

②経費の削減

・主に空調の細かい管理により節電に努めていた。

③適正な管理運営の確保

・保守点検はおおむね計画どおりに実施されていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に管理運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実を努め、利用者の拡大を図るとともに、適切な施設の点検及び修繕を実施するよう指導していく。